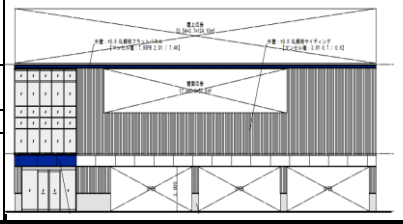
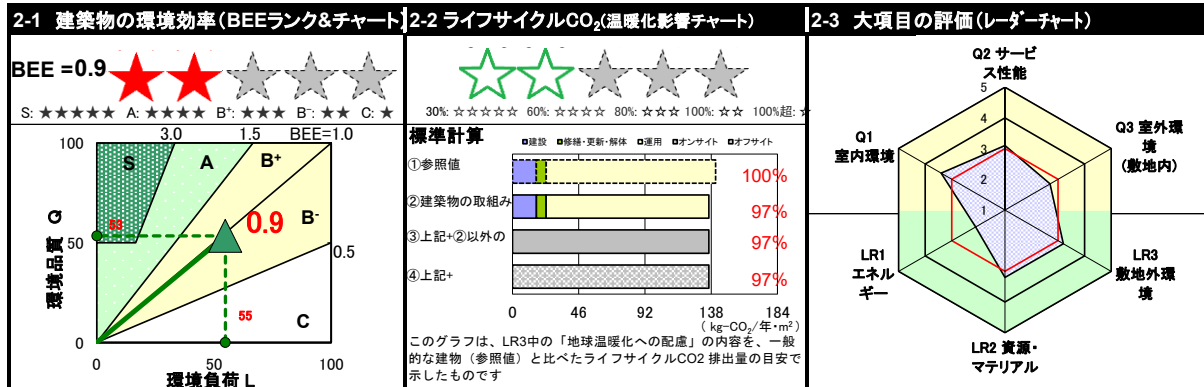
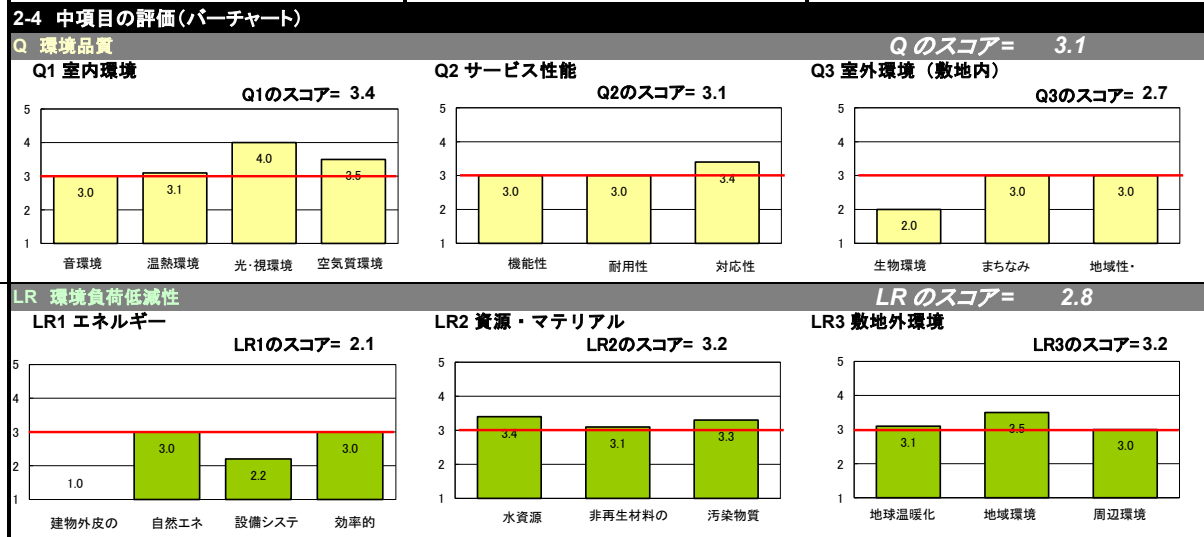


CASBEE あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アブライド豊田店	階数	地上2階
建設地	愛知県豊田市下市場町六丁目67-1, 67-2, 67-3, 67-4, 68-1	構造	S造
用途地域	準工業地域、第一種住居地域	平均居住人員	15 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年4月 予定	評価の実施日	2026年3月25日
敷地面積	1,851 m ²	作成者	横山直紀
建築面積	1,094 m ²	確認日	2026年3月25日
延床面積	2,098 m ²	確認者	横山直紀



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.1	2.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.1	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3.1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2.2 耐用性・信頼性、Q-2.3 対応性・更新性

LR-2.2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3.1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$ 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$ 

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
((仮称)アプライド豊田店)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体
配慮項目	重点項目			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境						0.40			3.4
1 音環境				0.1	3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40			
1.2 遮音				0.4	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				-	3.0	1.00			
2 界壁遮音性能				-	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-			
1.3 吸音				-	3.0	0.20			
2 温熱環境				0.3	3.1	0.35			3.1
2.1 室温制御				0.5	3.3	0.50			
1 室温				3.0	3.0	0.50			
2 外皮性能			窓/SC値:0.50、窓/U値:4.31、外壁/U値:0.48程度	3.0	5.0	0.17			
3 ゾーン別制御性				3.0	3.0	0.33			
2.2 湿度制御				3.0	3.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30			
3 光・視環境				0.2	4.0	0.25			4.0
3.1 昼光利用				0.5	3.0	0.50			
1 昼光率				3.0	-	-			
2 方位別開口				-	-	-			
3 昼光利用設備				3.0	3.0	1.00			
3.2 グレア対策				-	-	-			
1 昼光制御				5.0	-	-			
3.3 照度				3.0	-	-			
3.4 照明制御			1作業単位で照明制御でき、端末リモコン等で調整できる	3.0	5.0	0.50			
4 空気質環境				0.2	3.5	0.25			3.5
4.1 発生源対策				0.5	4.0	0.50			
1 化学汚染物質			床、壁、天井の他、天井裏も含めて、告示対象外又はF☆☆☆☆の建築材料を使用	3.0	4.0	1.00			
4.2 換気				0.3	3.0	0.30			
1 換気量				3.0	3.0	0.50			
2 自然換気性能				3.0	-	-			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50			
4.3 運用管理				0.2	3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	3.0	0.50			
Q2 サービス性能						0.30			3.1
1 機能性				0.4	3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	-	-			
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-			
3 バリアフリー計画	独自			3.0	3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				0.3	2.6	0.30			
1 広さ感・景観 (天井高)			売場の天井高3.6m以上	3.0	5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース				3.0	2.0	0.33			
3 内装計画				3.0	1.0	0.33			
1.3 維持管理				0.3	3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計			壁や床に防汚性の高い材料を使用している	3.0	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				-	3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				0.3	3.0	0.31			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.2	0.33			
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				-	2.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			ビニル床タイル、ビニルクロス:20年	-	5.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水:(PEP)、雑排水:(VP)、冷媒:(CUP)	-	5.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23			
2.4 信頼性				0.1	2.8	0.19			
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20			
3 電気設備				3.0	3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20			
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20			

3 対応性・更新性				0.2	3.4	0.29	-	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり				0.3	4.6	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり				-	5.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	4.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性				-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	-	0.30	-	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				独自③	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				独自④	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				独自④	-	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー				-	-	0.40	-	-	-	2.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=1.07	3.0	1.0	0.30	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.96	3.0	2.2	0.30	-	-	2.2
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング					-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制					-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水					3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.1	0.63	-	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減					-	2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				②	-	3.0	0.21	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				独自	3.0	3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				独自	3.0	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.3	0.22	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.5	0.68	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					-	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒					3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮				①	-	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮					0.3	3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止					-	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				独自	-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				独自	-	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音				独自	-	3.0	1.00	-	-	
2 振動				独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート

【仮称】アブライト豊田店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.1	0.10	3.1
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)アプライド豊田店

計画上の配慮事項	
総合	愛知県豊田市に新設される商業施設である。 広々と開放感のある売場にて、リサイクル材の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。
Q1 室内環境	ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建築材料を使用する事で、室内空気環境の向上に貢献している。
Q2 サービス性能	維持管理のしやすさ、必要更新間隔に配慮した内装・外装設計をしている。
Q3 室外環境(敷地内)	駐車場ピロティを全面に用いた計画により、日陰の形成に努める事で、敷地内温熱環境の向上に寄与している。
LR1 エネルギー	断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能な構造により、部材の再利用可能性向上として資源保護を図っている。
LR3 敷地外環境	オール電化として、大気汚染防止に配慮している。
その他	特になし。